

安定タイプの運用状況

※過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

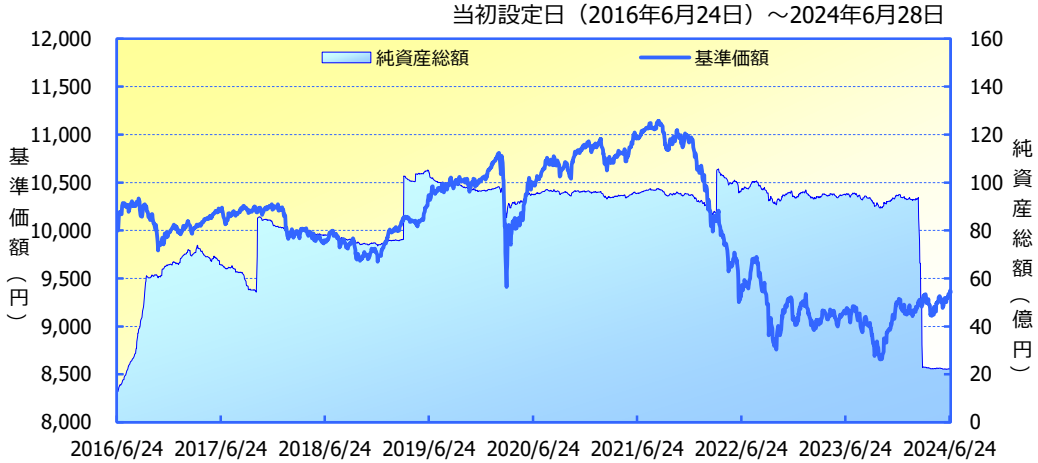
「基準価額・純資産の推移」

2024年6月28日現在

基準価額	9,354 円
純資産総額	22億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	+1.8 %
3か月間	+0.3 %
6か月間	+0.7 %
1年間	+1.8 %
3年間	-14.8 %
5年間	-9.3 %
年初来	+0.7 %
設定来	-6.5 %



※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「基準価額（分配金再投資）」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金
第1期 (17/06)	0円
第2期 (18/06)	0円
第3期 (19/06)	0円
第4期 (20/06)	0円
第5期 (21/06)	0円
第6期 (22/06)	0円
第7期 (23/06)	0円
第8期 (24/06)	0円

分配金合計額 設定来：0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産に対するものです。

組入ファンド別構成		通貨別構成	
ファンド名	比率	通貨	比率
国内株式ファンド	12.6%	日本円	82.0%
先進国株式ファンド	12.7%	米ドル	15.3%
新興国株式ファンド	3.0%	ユーロ	2.3%
国内REITファンド	4.4%	豪ドル	0.2%
先進国REITファンド	2.0%	英ポンド	0.1%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	52.2%	カナダ・ドル	0.1%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	12.0%	シンガポール・ドル	0.1%
コールローン、その他	1.0%	香港ドル	0.0%
		デンマーク・クローネ	0.0%
		その他	-0.1%
合計	100.0%	合計	100.0%

※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。
※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

「ファンドマネージャーのコメント」

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【投資行動】

6月は、配分比率の変更を行い、変更後の配分比率を維持しました。詳しくは、2024年7月16日付「Fund Letter」（当社ホームページに掲載）をご覧ください。

【パフォーマンス】

6月は、米国の5月のCPI（消費者物価指数）の伸び鈍化などから利下げ期待が高まり、長期金利が低下したことを好感し、先進国株式ファンドや先進国債券（為替ヘッジあり）ファンドが上昇したため、ファンド基準価額は月間で上昇しました。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。8ページ目の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

設定・運用

YMfg | ワイエムアセットマネジメント

商号等 ワイエムアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 中国財務局長（金商）第44号
加入協会 一般社団法人投資信託協会

安定タイプの運用状況

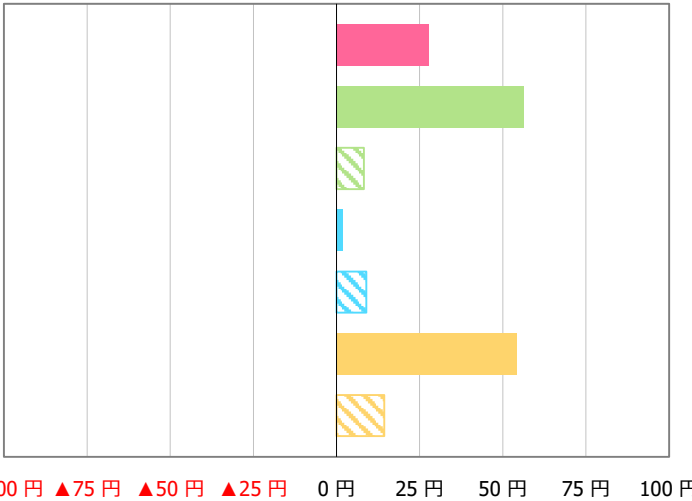
組入ファンドの騰落率 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

投資信託証券（ファンド名）	運用会社名	主な投資方針	騰落率			
			1か月間	3か月間	6か月間	設定来
国内株式ファンド	大和アセットマネジメント	国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。	+2.6%	+1.7%	+19.5%	+176.0%
先進国株式ファンド		日本を除く先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。	+5.0%	+9.9%	+26.5%	+309.4%
新興国株式ファンド		新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。	+3.0%	+10.5%	+20.8%	+143.5%
国内REITファンド		国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。	+0.7%	-3.7%	-2.7%	+32.9%
先進国REITファンド		日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。	+5.0%	+4.2%	+9.8%	+94.1%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド		先進国通貨建ての債券を主な投資対象とし、日本を除く先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	+1.1%	-1.4%	-4.0%	-18.2%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド		新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券を主な投資対象とし、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行ないます。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。	+1.2%	-1.0%	-1.7%	-19.8%

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

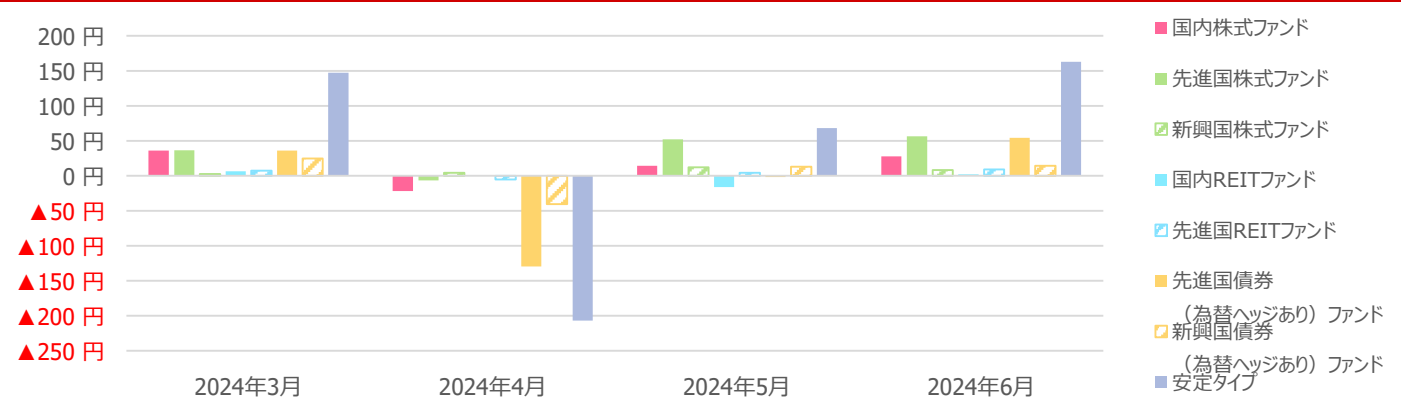
基準価額の月次変動要因分解 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

2024年6月末の基準価額	9,354 円
2024年5月末の基準価額	9,191 円
変動額	163 円
内訳	合計
国内株式ファンド	28 円
先進国株式ファンド	56 円
新興国株式ファンド	8 円
国内REITファンド	2 円
先進国REITファンド	9 円
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	54 円
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	14 円
小計	172 円
分配金	0 円
信託報酬、その他	▲9 円



※「基準価額の月次変動要因分解」は、簡便法に基づく概算値です。
※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

基準価額の月次変動要因 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。



成長タイプの運用状況

※過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

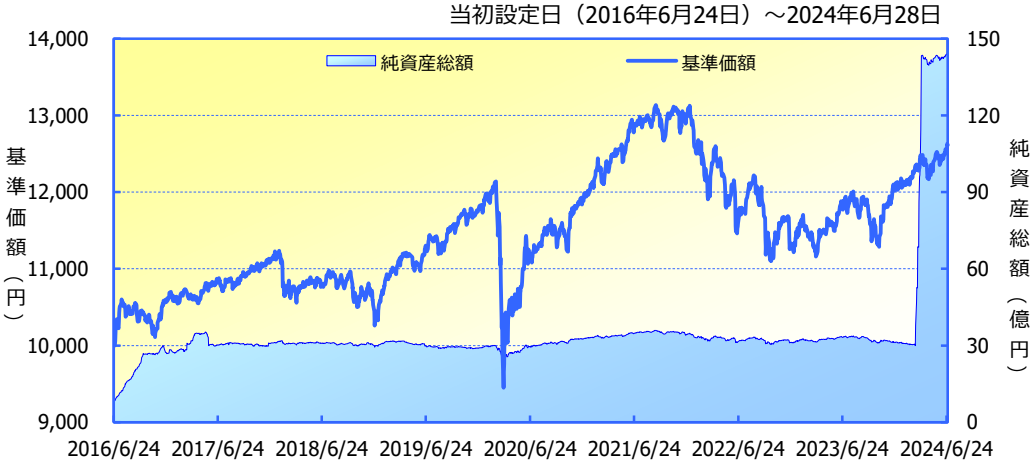
「基準価額・純資産の推移」

2024年6月28日現在

基準価額	12,612 円
純資産総額	144億円

期間別騰落率

期間	ファンド
1か月間	+2.1 %
3か月間	+1.1 %
6か月間	+4.1 %
1年間	+6.1 %
3年間	-2.2 %
5年間	+12.3 %
年初来	+4.1 %
設定来	+26.1 %



※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「基準価額（分配金再投資）」を用いた騰落率を表しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「分配の推移」

（1万口当たり、税引前）

決算期（年/月）	分配金
第1期 (17/06)	0円
第2期 (18/06)	0円
第3期 (19/06)	0円
第4期 (20/06)	0円
第5期 (21/06)	0円
第6期 (22/06)	0円
第7期 (23/06)	0円
第8期 (24/06)	0円

分配金合計額 設定来：0円
※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合があります。

「主要な資産の状況」

※比率は、純資産に対するものです。

組入ファンド別構成		通貨別構成	
ファンド名	比率	通貨	比率
国内株式ファンド	15.1%	日本円	71.7%
先進国株式ファンド	15.8%	米ドル	24.3%
新興国株式ファンド	7.3%	ユーロ	2.9%
国内REITファンド	6.6%	豪ドル	0.4%
先進国REITファンド	5.1%	英ポンド	0.3%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	36.5%	カナダ・ドル	0.2%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	12.8%	シンガポール・ドル	0.2%
コールローン、その他	0.9%	香港ドル	0.0%
		ブラジル・リアル	0.0%
		その他	-0.1%
合計	100.0%	合計	100.0%

※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。
※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

「ファンドマネージャーのコメント」

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【投資行動】

6月は、配分比率の変更を行い、変更後の配分比率を維持しました。詳しくは、2024年7月16日付「Fund Letter」（当社ホームページに掲載）をご覧ください。

【パフォーマンス】

6月は、米国の5月のCPI（消費者物価指数）の伸び鈍化などから利下げ期待が高まり、長期金利が低下したことを好感し、先進国株式ファンドや先進国債券（為替ヘッジあり）ファンドが上昇したため、ファンド基準価額は月間で上昇しました。

成長タイプの運用状況

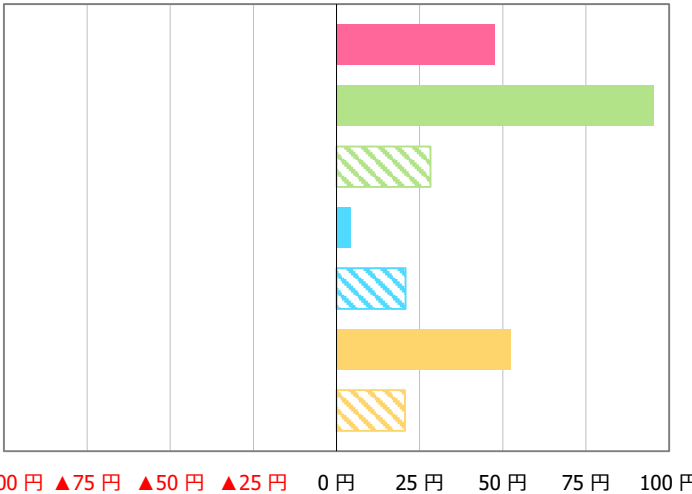
組入ファンドの騰落率 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

投資信託証券（ファンド名）	運用会社名	主な投資方針	騰落率			
			1か月間	3か月間	6か月間	設定来
国内株式ファンド	大和アセットマネジメント	国内の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+2.6%	+1.7%	+19.5%	+176.0%
先進国株式ファンド		日本を除く先進国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+5.0%	+9.9%	+26.5%	+309.4%
新興国株式ファンド		新興国の株式市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+3.0%	+10.5%	+20.8%	+143.5%
国内REITファンド		国内のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+0.7%	-3.7%	-2.7%	+32.9%
先進国REITファンド		日本を除く先進国のリート市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。	+5.0%	+4.2%	+9.8%	+94.1%
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド		先進国通貨建ての債券を主な投資対象とし、日本を除く先進国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	+1.1%	-1.4%	-4.0%	-18.2%
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド		新興国の国家機関が発行する米ドル建ての債券を主な投資対象とし、新興国の債券市場の中長期的な値動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。	+1.2%	-1.0%	-1.7%	-19.8%

※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

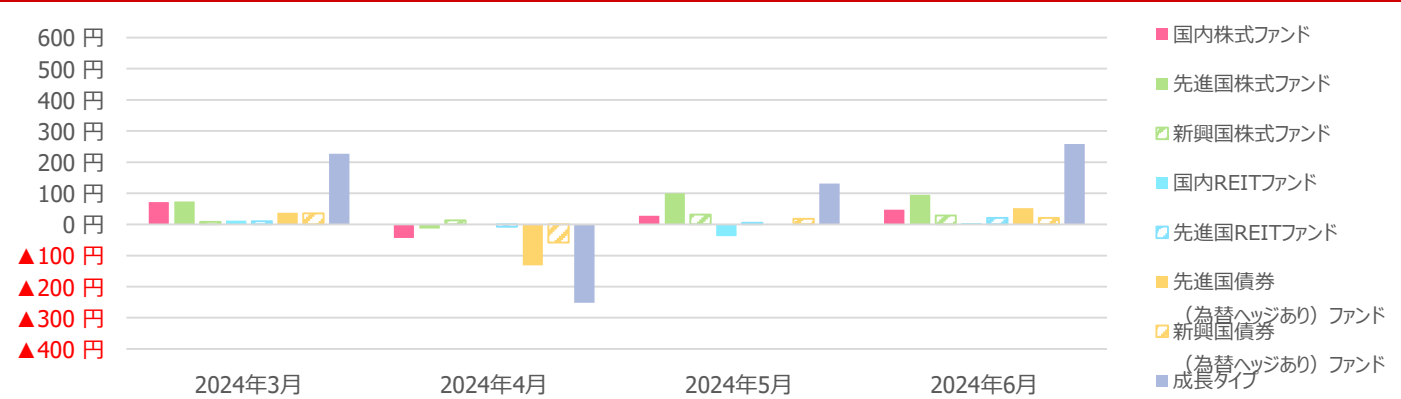
基準価額の月次変動要因分解 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

2024年6月末の基準価額	12,612 円
2024年5月末の基準価額	12,354 円
変動額	258 円
内訳	合計
国内株式ファンド	48 円
先進国株式ファンド	95 円
新興国株式ファンド	28 円
国内REITファンド	4 円
先進国REITファンド	21 円
先進国債券（為替ヘッジあり）ファンド	53 円
新興国債券（為替ヘッジあり）ファンド	21 円
小計	269 円
分配金	0 円
信託報酬、その他	▲11 円



※「基準価額の月次変動要因分解」は、簡便法に基づく概算値です。
※ファンド名は「（適格機関投資家専用）」を省略しています。

基準価額の月次変動要因 ※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。



「投資環境」

市況概況

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

(国内株式)

国内株式市場は上昇しました。月前半は、複数の大手自動車メーカーによる認証試験での不正問題や、米国の雇用統計の上振れを受けた米利下げ期待の後退、日米の金融政策決定会合への警戒感などにより株価は下落しました。月後半は、フランスを中心とした欧州の政治不安を嫌気する局面もありましたが、その反動とも見られる動きに加え、海外金利の上昇を受けて円安が進行したことなどを好感し、株価は上昇しました。

(先進国株式)

先進国株式市場は上昇しました。米国株は上昇した一方、欧州株は小幅に下落しました。米国金利が低下基調で推移する中、期初より先進国株式は堅調に推移していましたが、マクロン仏大統領が下院の解散総選挙を発表すると、フランスの政治リスクが嫌気され6月半ばに欧州株は急落しました。6月後半は、米小売売上高の悪化が米利下げ期待を高めたことなどを好感し米国株が堅調に推移した一方、欧州株は政治不安が相場の重しとなりました。

(新興国株式)

新興国株式市場は上昇しました。上旬から中旬にかけては、米国のインフレ加速懸念が後退したことや米エヌビディアCEO（最高経営責任者）の台湾での講演などから人工知能向け半導体関連に対する期待が高まったことなどを背景に、台湾などを中心に上昇しました。下旬は、短期的な過熱感から半導体関連株が調整したことや中国の個人消費への不安が再燃したことなどから下落しました。

(国内リート)

国内リート市場は小幅に上昇しました。月初は上昇して始まったものの、月末にかけては国内長期金利が再び1%を超えて上昇したように、日銀による追加の金融政策修正観測への懸念が高まり、上値を抑えられる展開が続きました。

(先進国リート)

先進国リート市場は上昇しました。月半ばにかけての金利低下や見直し買いとみられる動きも手伝って、月末にかけて上昇しました。米国で初旬に開催された主要カンファレンスでは、比較的ポジティブな内容が多く、高金利環境によって外部成長機会を抑制されている中でも、各社成長を模索している様子が窺われました。セクターでは、賃料トレンドに改善が見られる貸倉庫や、住宅価格が上昇を続ける中で集合住宅が特に上昇しました。

(先進国債券)

先進国債券市場は上昇、金利は低下しました。米国においては、FRB（米国連邦準備制度理事会）が金利の据え置きを発表し、年内の政策金利見通しを引き上げましたが、インフレ指標をはじめ発表された経済指標の多くが予想を下振れたことで、金利は低下しました。その他の国についても、米国金利に連れる形で金利は低下しました。

(新興国債券)

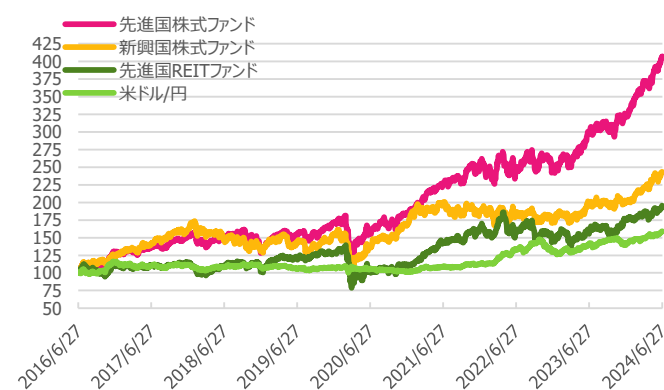
米ドル建て新興国債券のスプレッド（米国債との利回り格差）は、拡大しました。メキシコは、大統領・議会選で与党が予想外に大勝したことで経済への介入を強める改革が議会で成立する可能性が嫌気され、スプレッドが拡大しました。南アフリカは、総選挙後に与党が過半数割れとなりましたが、その後連立政権の樹立が好感され、スプレッドは縮小しました。

(為替)

為替市場では、投資対象通貨は対円で上昇しました。日銀が金融政策決定会合を開催し、国債の買入れ減額を決定したものの、具体的な減額計画が先送りされたことで日銀の緩和的な姿勢が意識され、円は弱含む展開となり、投資対象通貨は対円で上昇しました。

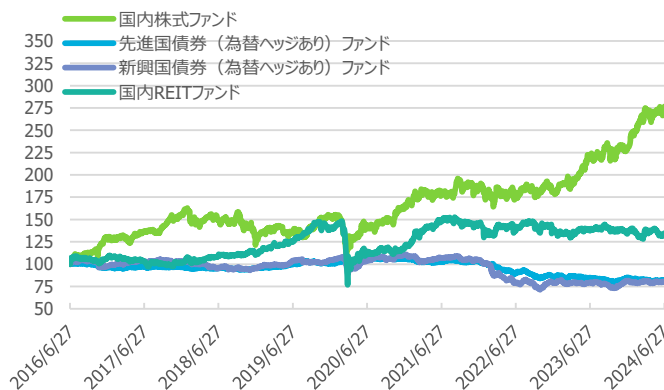
新興国の為替市場では、財政悪化懸念などから主要な中南米通貨が対円で下落しました。一方、日銀が緩和的な金融政策を継続していることや、日本の円買い為替介入への警戒感が後退したことなどから円安が進行し、アジアなどでは多くの通貨が対円で上昇しました。

組入ファンド（為替ヘッジなし）と為替の価格の推移



※ファンド設定日を基準として指数化しています。

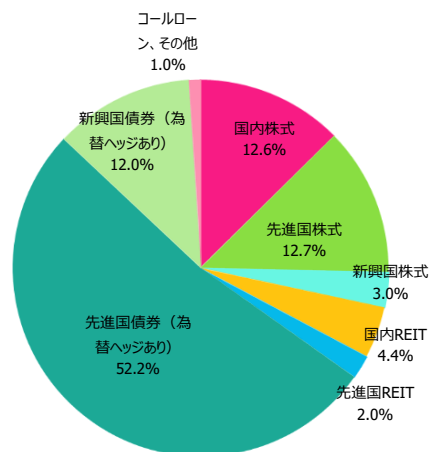
組入ファンド（為替ヘッジありおよび国内資産）の価格の推移



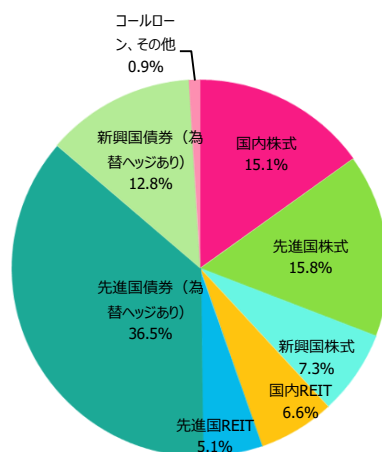
「各コースの資産・通貨別構成と基準価額の比較」

資産別組入ファンド比率（純資産比）

安定タイプ



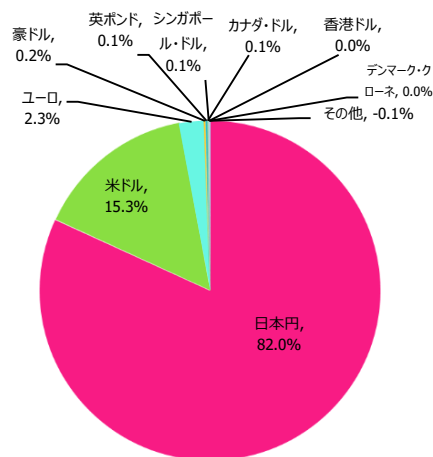
成長タイプ



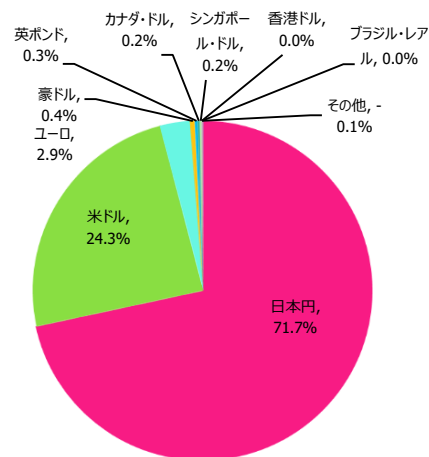
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

通貨別構成（純資産比）

安定タイプ



成長タイプ



※大和アセットマネジメントのデータを基にワイエムアセットマネジメントが計算しています。

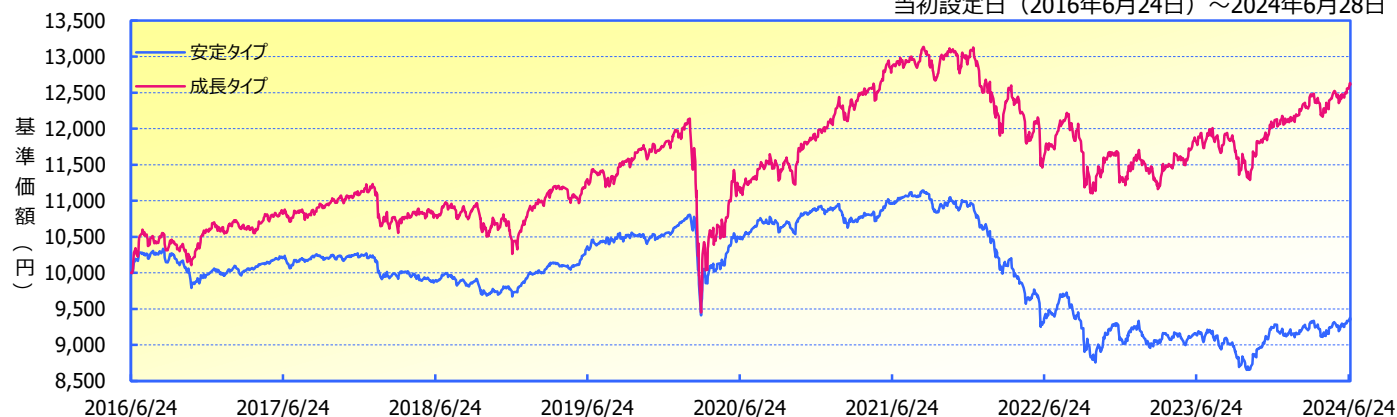
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

※為替ヘッジ付外債は、日本円に分類しています。

基準価額（分配金再投資）の比較

※データは過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

当初設定日（2016年6月24日）～2024年6月28日



※「基準価額（分配金再投資）」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（7ページ目の「ファンドの費用」をご覧ください）。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

「ファンドの目的・特色」

ファンドの目的

- 内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

ファンドの特色

1. 複数の投資信託証券への投資を通じて、主として内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資します。
2. 各資産への投資比率が異なる「安定タイプ」と「成長タイプ」の2つのタイプから選択できます。
3. 山口フィナンシャルグループの運用会社であるワイエムアセットマネジメント株式会社がファンド運用を行ないます。
4. 内外の債券、株式およびリートを実質的な投資対象とする複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。

・各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
YM アセット・バランスファンド（安定タイプ）：「安定タイプ」
YM アセット・バランスファンド（成長タイプ）：「成長タイプ」
・各ファンドの総称を「YM アセット・バランスファンド」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

「投資リスク」

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動、リートの価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

「ファンドの費用」

お客さまが直接的に負担する費用		
購 入 時 手 数 料	ありません。	
信 託 財 産 留 保 額	ありません。	
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用 （ 信 託 報 酬 ）	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して次に掲げる率	
	安定タイプ	成長タイプ
	年率 1.1275%（税込）	年率 1.2375%（税込）
	投資対象とする 投資信託証券	年率 0.209%（税込）～年率 0.330%（税込）
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.406%程度（税込）＊	年率 1.510%程度（税込）＊
その他の費用・ 手 数 料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

* 実際の組入状況等により変動します。

※手数料等の合計金額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

「当資料のお取り扱いにおけるご注意」

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするためにワイエムアセットマネジメント株式会社により作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

- ▶ ワイエムアセットマネジメント株式会社
083-223-7124（営業日の9:00～17:00）
- 当社ホームページ
▶ <http://www.ymam.co.jp/>

「販売会社」

販売会社（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第117号	○	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○	○		
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第6号	○	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。